

平成30年度宮城県名取高等学校定時制〈志教育〉全体計画

校 訓

真善美への感動と実践

本校の教育目標

人格の完成をめざし国家社会の有為な人材を育成

生徒の実態、教師の願い

・7割程度がアルバイトを行っており、基礎学力の定着に課題があり、授業に集中できない生徒もいる。元氣よく挨拶できるが、言葉遣いが粗雑な面もある。

・社会人として望ましい基礎学力を固め、高校生及び社会人としての自覚と責任を持ち、集団生活において、自他を尊重するとともに他者と協調する姿勢を持って欲しい。

- ・自己理解と社会認識
- ・公德心と規範意識
- ・豊かな情操

保護者や地域の願い

・学業と勤労を両立させながら充実した生活を送って欲しい。

・学校生活と職場から、豊かな社会性を身に付けて欲しい。

・目標を持って生活に張りを持たせ、自己実現と進路達成に努めて欲しい。

「志教育」の目標

・他者や自己の良さを認め、良好な人間関係を築き、有意義な高校生活を送らせる。

・社会の一員としての自己を認識し、自分がどのような形で社会貢献できるかを考え、行動できるようにする。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
学校行事、LHR、部活動、就労体験を通して、人間関係の大切さを理解させ、信頼し合える学級集団作りに努める。	授業を大切にす姿勢を確立させ、知識や技能を得ることが自己実現や社会参画への一歩となることを理解させる。また、就労体験を通して自分の適性について考え、職業と学習との関わりを考えさせる。	HRでの役割分担を責任を持って果たすようにさせ、集団の中の一員である自覚を促す。就労によって、社会の中での自分の立場を知って行動することを学び、自分が必要とされていることに誇りを持たせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律を徹底し、望ましい学習態度や習慣を身に付けさせる。 ・土台となる基礎学力をより確実なものとする。 ・周囲を考えた言動をとり、授業に意欲的に臨む姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学業と勤労の両立に向けて、望ましい学習習慣や勤労観を育成する。 ・社会人としての自覚と規範意識、責任ある行動を身に付けさせる。 ・集団生活において、自他を尊重する態度と協調性を養わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路、就職指導と関連付けた資格取得を推進する。 ・自己理解を進めさせることで、より具体的な目標を立てるための下地を作らせる。 ・目標を持ち、その達成に向けて努力する方法を考えさせることで、よりよい学習習慣の確立を目指す。 ・進学や就職に関連した内容を取り扱うことで、社会で必要な知識や能力を身に付けさせ、自己の伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする、自主的・実践的な態度を育てる。 ・集団での他者との関わりにおいて、互いを尊重する心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活を通して他者との協働、自他の尊重の意識を育てる。 ・学業と勤労の両立を通して自律の精神を養うとともに、自己肯定感を育てる。

各学年の取組内容

1年	2年	3年	4年
<ol style="list-style-type: none"> ① 新年度全学年オリエンテーション ② 進路適性検査「生徒理解調査」 ③ 労働法の理解 ④ ハローワーク見学 ⑤ 定時制育成会「進路講話」（社会人講師による講話） ⑥ 卒業生講話（卒業生による進路講話） ⑦ 生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑧ 思春期健康教育 ⑨ 定時制育成会「教育講演会」（社会人講師による人生講話等） 	<ol style="list-style-type: none"> ① 新年度全学年オリエンテーション ② 進路適性検査「個性発見調査」 ③ 労働法の理解 ④ 定時制育成会「進路講話」（社会人講師による講話） ⑤ 卒業生講話（卒業生による進路講話） ⑥ 生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑦ 思春期健康教育 ⑧ 定時制育成会「教育講演会」（社会人講師による人生講話等） 	<ol style="list-style-type: none"> ① 新年度全学年オリエンテーション ② 進路適性検査「就職に向けた性格検査」 ③ 定時制育成会「進路講話」（社会人講師による講話） ④ 卒業生講話（卒業生による進路講話） ⑤ 生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑥ 定時制育成会「教育講演会」（社会人講師による人生講話等） ⑦ （卒業年次を翌年に控えた生徒対象）就職ガイダンス 	<ol style="list-style-type: none"> ① 新年度全学年オリエンテーション ② 進路適性検査「就職総合テスト」 ③ 定時制育成会「進路講話」（社会人講師による講話） ④ 卒業生講話（卒業生による進路講話） ⑤ 定時制育成会「模擬面接」（事業所を会場に行う就職面接学習会） ⑥ 生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑦ 定時制育成会「教育講演会」（社会人講師による人生講話等） ⑧ 修学旅行 ⑨ 入社準備セミナー

家庭との連携

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報提供を積極的に行い、生徒の人格の完成を目標に保護者と教職員が一体となって指導する。

地域・企業との協働

<ul style="list-style-type: none"> ・定時制育成会（地域の事業主と保護者及び教員から成る支援団体）の協力を得て、講演会や就職模擬面接会を通して社会との関わりを理解する。
--

平成30年度 宮城県名取高等学校(定時制)「志教育」年間指導計画

◎特に当てはまる
○当てはまる

3つの視点				かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす		
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	母語である日本語の歴史と変遷を知り、心情を豊かにするとともに、その担い手としての自覚を持たせる。また、思考力や表現力を伸ばし、他者や社会と主体的に関わろうとする姿勢を養う。				自分の国と世界が、どのような歴史的過程を経て形成されてきたのかをそれぞれの地域的特色を踏まえて理解させるとともに、国際社会に主体的に関わろうとする自覚と資質を養う。				広い視野に立って、現代社会について主体的に考察させ、理解を深めさせる。同時に、人間のあり方生き方への自覚を促し、民主的な社会の有為な形成者としての資質を養う。				身のまわりの様々な事象を数学的に考えたり表現したりすることのよさを感じ、そのよさを活かしたよりよい生き方を求めるための知的好奇心や豊かな感性を育む。				科学的な自然観を総合的に身に付けることにより、自然と人間の密接な関わりを探究し、環境問題等に対応できる能力を育成する。			
	保健体育	○	○	○	芸術	◎	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識と技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって健康・安全にスポーツを継続できる資質や能力を育てる。				芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育てるとともに、豊かな情操を養う。				外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う。				男女が協力して家庭生活を創造することがよりよい社会の基盤づくりになることを理解させるとともに、家庭生活に必要な知識・技能を習得し、実践する態度を育てる。				情報の特徴と、情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報の収集・処理・活用法を習得し、情報社会に主体的に参画する態度を育てる。			
商業	○	○	○	簿記に関する基本的な仕組みを理解させる。また、商業に関する課題を設定し、それを自発的・創造的に解決する学習態度を育てる。																
学年共通							かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標										
指導内容	① 挨拶の励行と校歌斉唱	○	○	○	1年	① 基本的な生活習慣を確立させる。 ② 協調性を身に付けさせる。 ③ 自主的な生活態度を身に付けさせる。														
	② 部活動への積極的参加	○	○	○																
	③ わかるまで諦めない授業参加	○	○	○	2年	① 基本的な生活習慣を徹底させる。 ② 礼儀を重んじるとともにきまりの意義を理解させ、公共心の育成を図る。 ③ 学業と勤労の両立、責任ある行動をさらに充実させる。														
	④ 掃除や給食当番をきちんとすること	○	○	◎																
	⑤ 楽しい学級を作ること	○	○	○	3年	① 主体的な学習態度、自立した生活習慣を確立させる。 ② 将来の目標を持ち、卒業後の進路を深く考えさせる。 ③ 集団生活の中で規律ある態度を養い、誠実で思いやりのある人間性を育む。														
	⑥ 学校・家庭・職場において、自分がやるべきことをきちんとはたすこと	○	○	◎																
	⑦ 毎日勉強すること	○	○	○	4年	① 最上級生としての自覚をもたせる。 ② 希望進路の実現に向けて社会との関わりを意識させる。 ③ 自立心、責任感を涵養する。														
	⑧ 目標を持つこと	○	○	○																
指導内容		ねらい			指導教科等	実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす										
全学年共通	進路適性検査	個性を発見し、自分の新たな可能性を見つける一助とする。			総学	4月	2	○	○	○										
	生徒交流会	クラス成員同士や職員との交流を図り、コミュニケーションを持つことで、相互の信頼を高める。			特別活動	5月	2	○	○	○										
	定時制育成会「進路講話」	実際に現場で活躍されている社会人を講師に招き、現場の声を聞くことにより、仕事とは何かを考えさせる。			総学	6月	3	○	○	○										
	卒業生講話	進路への意識を高め、未来への展望を持ちながら学校生活に取り組む姿勢を育てる。			総学	7月	1	○	○	○										
	生活体験発表会(校内大会・県大会)	学校や職場での体験や日頃抱えている考えを発表し、またその発表を聴くことにより、定時制生徒としての自覚を高め、協働の心を育む。			特別活動	9月	3	○	○	○										
	球技大会	クラス成員同士や職員との交流を図り、コミュニケーションを持つことで、相互の信頼を高める。			特別活動	9月	4	○	○	○										
	定時制育成会「教育講演会」	人間の尊厳や、人生などについて探求し、「生き方」について考えさせる。			総学	11月	3	○	○	○										
1年	ソーシャルスキルトレーニング	社会性を身に付け、対人関係をよりスムーズにするためのスキルを育成する。			総学	4,6,2月	3	◎	◎	◎										
	労働法の理解	労働基準法から働くことの意義や労働問題について学び、アルバイトや就職に対する理解を深める。			総学	5月	1	○	○	○										
	ハローワーク見学	アルバイト、就職への意識を喚起し、自分で職を探そうとする姿勢を育成する。			総学	5月	1	○	◎	○										
2年	思春期健康教育	進路への意識を高め、未来への展望を持ちながら学校生活に取り組む姿勢を育てる。			総学	10月	2	○	◎	○										
	労働法の理解	労働基準法から働くことの意義や労働問題について学び、アルバイトや就職に対する理解を深める。			総学	4月	1	○	○	○										
	ソーシャルスキルトレーニング	社会性を身に付け、対人関係をよりスムーズにするためのスキルを育成する。			総学	6,11,2月	3	◎	◎	◎										
3年	思春期健康教育	進路への意識を高め、未来への展望を持ちながら学校生活に取り組む姿勢を育てる。			総学	10月	2	○	◎	○										
	ソーシャルスキルトレーニング	社会性を身に付け、対人関係をよりスムーズにするためのスキルを育成する。			総学	6,11,2月	3	◎	◎	◎										
	高校生のための就職ガイダンス	グループワークを通して企業が求める人材を知るとともに、自己理解を図り、次年度の就職活動への心構えを育成する。			総学	1月	4	○	○	○										
4年	連携COによる進路講話	次年度へ向けて、如何に新規高卒で就職することが有利であるかを評し、最後まで就職を諦めないように指導する。			総学	9.11月	2	○	○	○										
	連携COによる進路講話	社会人としての心構えとビジネスマナーを知り、信頼される人間関係づくりについて学ぶ。			総学	6月	1	○	○	○										
	ソーシャルスキルトレーニング	社会性を身に付け、対人関係をよりスムーズにするためのスキルを育成する。			総学	7,9月	2	◎	◎	◎										
	修学旅行	団体行動を通して、クラスの和を培うとともに、集団行動のルールを学び協調性を養う。			特別活動	11月	12	◎	◎	◎										
	入社準備セミナー	社会人としての心構えとビジネスマナーを知り、信頼される人間関係づくりについて学ぶ。			総学	1月	2	○	○	◎										
合計時数							111													